

説明文の読み方 基本4ステップ【解答】

名前 _____

解答

基礎

説明文の読み方 4ステップ

①

指示語

何を指す？



②

接続語

前後はどんな関係？



③

段落の役割

何のための段落？



④

要点

一番大切なことは？

言葉のつながり → 文のつながり → 段落の役割 → 文章の中心、の順に読み取ろう。

① 指示語を読む

読み方のコツ

指示語は前に出た言葉や内容を指し示す言葉です。指示語を具体的な言葉に置き換え、文の意味が通るか確かめましょう。

確認

美咲は図書館で本を借りました。その本には星の動きがわかりやすく説明されていました。「その本」が指すものは何ですか。

答え 美咲が図書館で借りた本

「その」を具体的な言葉に置き換えて意味が通るか確認する。

② 接続語を読む

読み方のコツ

接続語は前後の文や内容の関係を示します。理由と結果、反対、具体例、言い換えなど、どのような関係かを考えましょう。

確認

今日は朝から強い雨が降っていました。[] 予定していた校庭での観察は中止になりました。

ア しかし イ たとえば ウ そのため

答え ウ

雨が降ったことが観察中止の理由なので「そのため」が適切。

③ 段落の役割を見る

読み方のコツ

段落には話題を示す、理由を説明する、具体例を示す、内容をまとめるなどの役割があります。その段落が何のために置かれているかを考えましょう。

確認

「身近なところにも水を節約する方法があります。たとえば歯をみがく間に水を止めることです。」この段落の「たとえば」以下の役割はどれですか。

ア 意見を反対する イ 具体例を示す ウ 話題を変える

答え イ

一般的な説明のあとに具体的な行動例を示している。

④ 要点をつかむ

読み方のコツ

要点はその段落で最も大切な内容です。細かな例や理由だけでなく、「この段落を一文でまとめると何か」を考えましょう。

確認

「植物を育てるときは水の量だけでなく日当たりにも気をつける必要があります。日光が不足すると十分に育たない植物もあるからです。」この段落の要点はどれですか。

ア 植物を育てるには日当たりにも注意が必要だ

イ 植物には毎日大量の水が必要だ

ウ すべての植物は日光が苦手だ

答え ア

理由の部分ではなく段落全体で最も伝えたい内容を選ぶ。

基礎① 指示語・接続語を読み取ろう【解答】

名前 _____

解答

基礎～標準

本文

私たちは毎日たくさんの紙を使っています。ノートや包装紙だけでなく学校から配られるプリントもその一つです。紙は便利ですが作るためには木材や水やエネルギーが必要です。そこで使い終わった紙を資源として回収する取り組みが行われています。回収された紙は工場で細かくほぐされ新しい紙の材料になります。この仕組みによって一度使った紙を再び役立てることができます。

問1

指示語

本文中の「その一つ」が指すものを答えなさい。

答え 紙

補足：「ノートや包装紙だけでなく学校から配られるプリントもその一つです」から「その一つ」は紙の一つを指す。

問2

指示語

本文中の「この仕組み」が指す内容を十五字以上三十字以内で答えなさい。

答え 使い終わった紙を回収して新しい紙の材料にする仕組み

補足：「回収された紙は工場で細かくほぐされ新しい紙の材料になります」の内容をまとめればよい。

問3

指示語

「この仕組み」のような指示語の内容を探するとき最初に見る場所として最も適切なものを選びなさい。

ア 指示語より前の部分 イ 文章の題名だけ ウ 自分の経験

答え ア

補足：指示語は直前や少し前の内容を受けることが多い。

問4

接続語

「紙は便利ですが」の前後と同じ関係になる接続語を選びなさい。

ア そのため イ たとえば ウ しかし

答え ウ

補足：「便利だ」という内容と資源が必要だという内容が対比されているので、「しかし」が適切。

問5

接続語

紙を作るには木材や水やエネルギーが必要です。〔 〕使い終わった紙を資源として回収する取り組みが行われています。

ア しかし イ そこで ウ つまり

答え イ

補足：前の課題を受けて対策を示しているので「そこで」が適切。

問6

接続語

回収された紙は新しい紙の材料になります。〔 〕一度使った紙をもう一度役立てることができるのです。

ア つまり イ ところが ウ たとえば

答え ア

補足：後ろの文が前の内容をまとめ直している。

問7

内容確認

使い終わった紙は回収されたあと新しい紙の材料として利用される。

答え ○

補足：本文に「新しい紙の材料になります」とある。

問8

内容確認

ア 紙は一度使うと二度と利用できない イ 紙を作るときには水もエネルギーも使わない ウ 紙を再利用することで資源を役立てられる

答え ウ

補足：本文全体では紙を回収して再び役立てる仕組みを説明している。

基礎② 段落の役割と要点をつかもう【解答】

名前 _____

解答

基礎～標準

本文

①私たちは何かを覚えるとき一度読んだだけで覚えられるとは限りません。大切なのは覚えた内容を自分で思い出そうとすることです。②たとえば英単語を勉強するとき答えを見ながら何度も読むだけでなく一度本を閉じて意味を思い出してみます。すぐに出てこなければもう一度確認します。③このように思い出す練習をくり返すと自分が覚えていることと覚えていないことの違いがわかります。そのため次にどこを重点的に勉強すればよいかも見つけやすくなります。④勉強では読む回数を増やすだけでなく自分の力で思い出す時間をつくるのが大切なのです。

問1 段落構成

第②段落の役割として最も適切なものを選びなさい。

ア 具体例を示す イ 結論を示す ウ 反対意見を示す

答え ア

補足：第①段落の説明を英単語学習の例で具体化している。

問2 段落構成

第④段落の役割として最も適切なものを選びなさい。

ア 新しい話題を始める イ 文章全体をまとめる ウ 細かな具体例を加える

答え イ

補足：第①段落から第③段落までの内容をまとめて結論を示している。

問3 具体例

第②段落の英単語の例は何を説明するために挙げられていますか。

答え 覚えた内容を自分で思い出そうとする学習方法

補足：第①段落の中心内容を具体的に説明するための例。

問4 具体例

英単語を勉強するとき本文で勧めている方法として正しいものを選びなさい。

ア 答えを見たまま読み続ける イ 一度本を閉じて意味を思い出す ウ わからない単語はすべて飛ばす

答え イ

補足：第②段落に明記されている。

問5 要点

第③段落の要点として最も適切なものを選びなさい。

ア 思い出す練習で自分の理解度がわかり次の勉強に生かせる イ 英単語は一度読めば必ず覚えられる ウ 勉強では本を閉じてはいけない

答え ア

補足：段落中の複数の説明をまとめた内容になっている。

問6 要点

筆者が「大切なのは」と述べている内容を二十字以内で抜き出しなさい。

答え 覚えた内容を自分で思い出そうとすること

補足：本文中の「覚えた内容を自分で思い出そうとすること」の十九字を抜き出す。

問7 要点

文章全体の要点として最も適切なものを選びなさい。

ア 勉強では読むことをやめるべきだ イ 覚えるには思い出す練習を取り入れることが大切だ ウ 英単語だけは特別な覚え方が必要だ

答え イ

補足：具体例ではなく文章全体を通して繰り返される主張を選ぶ。

問8 全体確認

ア 主張→具体例→効果の説明→まとめ イ 具体例→反対意見→話題変更→疑問 ウ 結論→別の話題→具体例→反論

答え ア

補足：第①段落で主張し第②段落で具体例を示し第③段落で効果を説明して第④段落でまとめている。

発展 説明文全体を読み取ろう【解答】

名前 _____

解答 発展

本文

①町の中には同じ場所でも時間によって使われ方が変わる空間があります。駅前の広場もその一つです。朝は通勤や通学の人が足早に通り昼には待ち合わせをする人や休憩する人が増えます。②広場にはベンチや屋根が置かれていることがあります。こうした設備はただ見た目を整えるためだけのものではありません。立ち止まって休める場所があることで人は広場に少し長くとどまりやすくなります。③人がとどまるとそこには会話や交流が生まれることがあります。また近くの店を利用する人が増える場合もあります。つまり広場の設備は人の行動だけでなく周囲のにぎわいにも関わっているのです。④ただし設備を増やせば必ずよい広場になるわけではありません。通路をせまくしたり利用する人の動きをじゃましたりしては逆効果です。⑤大切なのはその場所をどのような人がいつどのように使うのかを考えて必要な設備を置くことです。町の空間は見た目だけでなく使う人の行動を考えて整える必要があります。

問1 文脈理解

第②段落の「こうした設備」が指すものを答えなさい。

答え ベンチや屋根

補足：直前の文に具体的な設備として示されている。

問2 文脈理解

第④段落の「ただし」が示す前後の関係として最も適切なものを選びなさい。

ア 前の内容の具体例を示す イ 前の内容に条件や注意を加える ウ 前の内容を同じ言葉で繰り返す

答え イ

補足：第③段落までの利点に対して第④段落では注意点を示している。

問3 段落関係

第②段落と第③段落の関係として最も適切なものを選びなさい。

ア 第②段落と第③段落はまったく別の話題を扱っている イ 第②段落で結論を述べ第③段落で反対している ウ 第②段落で設備の働きを説明し第③段落でその影響を広げて説明している

答え ウ

補足：設備が人をとどまらせることから交流や周囲のにぎわいへ説明が広がっている。

問4 段落関係

第④段落が必要な理由として最も適切なものを選びなさい。

ア 設備にはよい面だけでなく置き方への注意も必要だと示すため イ 駅前の広場をなくすべきだと主張するため ウ ベンチの材料を説明するため

答え ア

補足：第④段落は前までの説明に条件を加え主張をより正確にしている。

問5 筆者の説明

筆者が「設備を増やせば必ずよい広場になるわけではありません」と述べる理由を本文に即して答えなさい。

答え 設備が通路をせまくしたり人の動きをじゃましたりすることがあるから

補足：第④段落の具体的な理由を用いて答える。

問6 筆者の説明

設備を置くときに考える必要があることを第⑤段落から三つ答えなさい。

答え どのような人が使うか、いつ使うか、どのように使うか

補足：三要素がそろっていれば順序は問わない。

問7 全体理解

本文全体で筆者が最も伝えたいことを四十字以内で答えなさい。

答え 町の空間は見た目だけでなく使う人の行動を考えて整えることが大切だ。

補足：「使う人の行動を考える」と「空間を整える」の二点を含める。表現が異なっても同内容なら可。

定期テスト対策 説明文総合問題【解答】

名前 _____

解答 定期テスト対策

本文

①私たちは便利な道具を見ると機能が多いほど使いやすいと考えることがあります。しかし実際には機能が多いことで操作がわかりにくくなる場合もあります。②たとえば学校で使う機器に多くのボタンが並んでいると初めて使う人はどのボタンを押せばよいかわかります。一方で必要な操作だけが目立つように作られていれば短い時間でも使い方を理解できます。③この違いは道具を作る側が利用する人の行動を想像しているかどうかに関係しています。作る人にとって便利な機能でも使う人が必要としていなければかえって負担になることがあります。④だから道具を工夫するときには新しい機能を加えることだけを考えるのではなく誰がどの場面で使うのかを考える必要があります。使いやすさとは機能の数ではなく必要なことを迷わず行えることだといえるでしょう。

問1 語句・文脈

本文中の「負担」に最も近い意味を選びなさい。

ア 道具の値段が必ず高くなること イ 使う人にとって手間や困りごとになること ウ 道具が軽くなること

答え イ

補足：文脈上は不要な機能によって操作しにくくなることを指す。

問2 指示語

第③段落の「この違い」が指す内容を答えなさい。

答え 機能が多く操作に迷う場合と必要な操作だけが目立ち使い方を理解しやすい場合の違い

補足：第②段落の二つの状態の対比をまとめる。両方の内容が含まれていれば可。

問3 接続語

第④段落の「だから」が示す関係として最も適切なものを選びなさい。

ア 具体例を追加する イ 前の内容に反対する ウ 前までの説明を受けて結論を導く

答え ウ

補足：第①段落から第③段落の説明を受けて第④段落で筆者の考えをまとめている。

問4 段落

第②段落の役割として最も適切なものを選びなさい。

ア 道具の使いやすさについて具体例を示す イ 筆者の最終的な結論だけを示す ウ 道具の歴史を説明する

答え ア

補足：第①段落の問題提起を具体的な機器の例で説明している。

問5 段落

第③段落は第②段落を受けて何を説明していますか。最も適切なものを選びなさい。

ア 機器の値段の決まり方 イ 使いやすさの違いが生じる理由 ウ 学校で機器を使う時間

答え イ

補足：第②段落の具体例から一步進めて違いが生じる理由を説明している。

問6 内容理解

機能が多くの道具がかえって使いにくくなる可能性があるのはなぜですか。本文に即して答えなさい。

答え 必要でない機能があると、どの操作をすればよいかわからなくなるなど、使う人の負担になることがあるから

補足：第②段落と第③段落の内容を根拠にする。「初めて使う人がどの操作をすればよいかわからなくなるから」など、本文に即した同内容の表現も可。

問7 内容理解

ア 機能が多ければ多いほど必ず使いやすい イ 使いやすさは道具の重さだけで決まる ウ 道具を作るときは利用する人や場面を考える必要がある

答え ウ

補足：第④段落の筆者の主張と一致する。

問8 要点・要旨

ア 道具の使いやすさには利用する人が必要な操作を迷わず行えることが重要である イ よい道具とはできるだけ多くの機能を備えた道具である ウ 学校では新しい機器を使わないほうがよい

答え ア

補足：最終段落の結論と文章全体の説明をまとめた選択肢。